

21世紀COE講演会報告書

工学研究科 分子工学専攻 佐藤啓文

講演者：宮崎 州正 先生（高知工科大学）

演 題：ガラス転移と動的相関長

場 所：京都大学大学院工学研究科桂キャンパス化学系講義室4（A2棟 307号室）

日 時：平成18年10月27日（金）14：00～15：30

参加者：学部生・大学院学生・教員

参加者総数：25名

講演内容

宮崎助教授は、統計力学の理論的手法を使って、液体の様々な現象の背後にある普遍的な性質を引き出す研究に取り組まれている。今回は、ガラス転移現象に関する最近の研究について、門外漢である大学院生をも意識して、わかりやすい講演をされた。現象の解説や、動機付けについて非常に丁寧に説明されたあと、ガラス転移における難問題である、動的相関長を記述する理論を展開された。これは、モード結合理論を外場がある系へ拡張することによって可能になったもので、世界に先駆けて発表された内容である。多数の大学院生からも質問があり、大変活発な議論がなされた。

